

氏名 市川 泰崇

所属機関名(発表時) 松阪中央総合病院

発表学会名 The 5th Congress of Asian Society of Cardiovascular Imaging (ASCI)

(口演発表)

学会開催年月日 2011年6月17日～19日

演題名 Effect of Chronic Smoking on Coronary Endothelial Function : Assessment with Phase Contrast Cine Magnetic Resonance Imaging and Cold Pressor Test.

優秀論文賞受賞 無

学会報告記(800字程度・写真1枚)

締切:2011年6月24日

◇本文

今年の ASCI 総会は、6月17日～19日の3日間にわたり、香港の Convention & Exhibition Centre にて開催されました。参加者は1000名を超え、地元香港から400名以上の参加があったほか、中国本土、韓国、台湾、タイなどアジア各国から非常に多くの参加がありました。その他、アメリカやドイツなどアジア外からご高名な先生もみえて、精力的に教育講演や質疑応答に参加されていたのが印象的でした。Ricardo C. Cury 先生(Radiology Associates of South Florida)は、“Current status of cardiac CT 2011”の講演をされ、最近の ROMICAT trial や PROMISE、CORE 320 などの多施設研究の概要についての説明があり、cardiac CT の全体的な研究状況がよく理解できました。また Mathias Gutberlet 先生(Leipzig University)が、心臓領域における MR/PET system の臨床的有用性や技術的課題についてご講演され、興味深く拝聴させていただきました。

私にとって初めての ASCI 総会への出席でしたが、アジア各国の先生との交流がとても楽しく印象深い学会でもありました。18日夜に催された Congress Dinner では、余興の一つにカラオケ大会があり、そこで寺岡先生(八王子医療センター)や佐久間肇先生(三重大学)と3人で“北国の春”を歌い、会場から大きな拍手を頂戴しました。昨年の ASCI Square で共に trainee として参加した、Sonny Chiu 先生(Kwong Wah Hospital)や Eun-Ah Park 先生(Seoul National University)とも再会し、一緒に夕食や香港の夜景を楽しみました。ASCI の会長である Lim 先生とも直接お話する機会がありましたが、日本からもっと私のような若手研究者が ASCI に参加することを強く望んでおられました。



(写真)大会2日目に行われた Opening Ceremony の様子。獅子舞などの演出もありました。